

## 【第2回大日本印刷「働き方の変革 GOOD AWARD」大賞受賞】

大日本印刷株式会社（DNP）はグループを挙げて、時間資源の有効活用による仕事の付加価値向上と個人生活の充実を目的とした“働き方の変革”活動を2009年にスタートしました。2017年からは職場ごとの“働き方の変革”をさらに活性化させるため、1年間の活動事例の中から、好事例となる活動を社内投票で選出する「働き方の変革 GOOD AWARD」を実施しています。第2回となる2018年は87件の事例の中から14部門を選出し、4月24日に表彰式を開催しました。今回、“働き方の変革”によって大きな成果につながっている事例について、DNPグループ全社に呼びかけて募集しました。その結果、製造部門、営業部門、スタッフ部門などから87の好事例が集まりました。事務局による一次審査の後、DNPグループ社員が社内投票を行い、大賞・金賞・銀賞・銅賞のほか、優秀賞6賞、特別賞4賞をそれぞれ選出。DNPメディア・アート長岡オフィスが大賞を受賞いたしました。



大日本印刷ホームページ：

[https://www.dnp.co.jp/news/detail/1190107\\_1587.html](https://www.dnp.co.jp/news/detail/1190107_1587.html)

### 【取組みのきっかけ（危機感）】

働き方改革が叫ばれる昨今、人事評価制度、育児休暇の上限拡大、時間単位有給休暇、テレワーク導入等々、制度導入にフォーカスされた取組みに疑問を感じていました。柔軟な働き方の選択肢拡充は、大いに進めるべきであるが、本当にそれが（それだけが）企業のやるべきこと？

制度を整備したうえで、それを使う人、通常勤務する人それぞれが、負担を感じずに活用できるようにすること。それが企業を永続させていくことに繋がるのではないかと。それには生産性向上と社員の働く意欲向上が不可欠であり、風土改革・醸成にも通じる。そうであれば、一刻も早く始める必要がある。そのような危機感から活動を加速させました。

### 【主な活動事例】

#### ◎生産性向上

##### ● 施策実行～フォロー

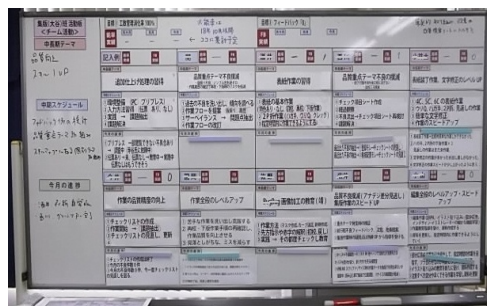
トップダウンで行っていた施策をオフィスとして実施すること、個々・グループ単位で実施することに分け、PDCAを着実に回してことをコミットしました。やらせっぱなしにならないよう、部長、他工程も入った活動報告会（月1回）実施し、オフィス内で共有。

##### ● 全方位多能工化

直接・間接作業、スタッフ業務も関係なく、少しずつオーバーラップさせる教育。

##### ● 物流レス（連携①）

市ヶ谷本社、得意先（主に出版社）と連携協力することで、日々の宅配運搬（材料、製品）を物流レス化。これにより作業時間の確保。



● お客様との連携（連携②）

生産性阻害要因を社内、社外に分け、それぞれプロジェクト化。主な社内要因は、個々・グループ単位の活動に落とし込み。社外要因は、オフィス+会社として取組み。得意先（出版社）に人員を派遣し、お客様の悩みや課題を一緒に考え、解決することで、計画的で精度の高い材料供給体制を構築。得意先とメディア・アートで WinWin の成果を得る。

◎働く意欲向上

● Sprit of NAGAOKA（スピリット オブ ナガオカ）

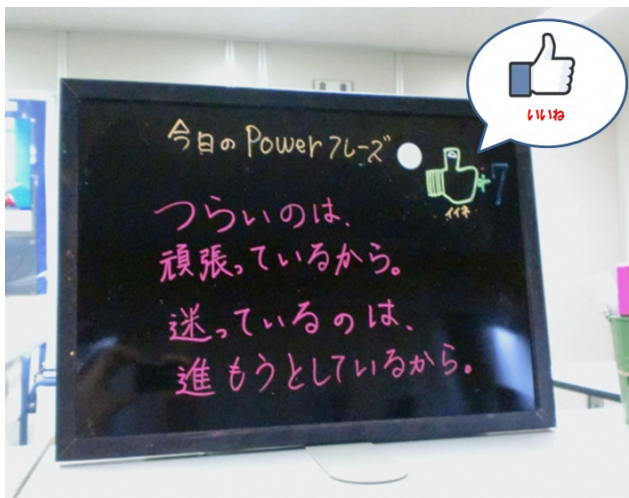
長岡オフィス版サンクスカード。

1対1になりがちなサンクスカードを全員にオープン化。

業務以外でも感謝、応援を付箋に記入しボードに貼りだし。



ありがとう～



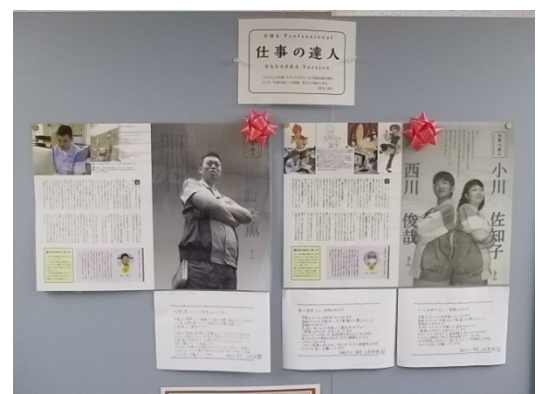
●今日の POWER フレーズ

出勤時のカードリーダー付近にボード設置。元気が出るフレーズを目にしてから作業開始。日替わり当番制で記入。フレーズを考えたり、調べたりすることでもモチベーションアップ！



●仕事の達人

会社内の業務に関わることなら何でも対象として、達人技に敬意を表する“仕事の達人”社内に掲示するも、「社内の人なら知っています！」という意見から、部長のコメントを添え家族宛に送っています。



●企業訪問

社員と一緒に企業を訪問させていただき、生の活動を見学。

【企業担当者より一言】

社員と一緒に稼ぎだした時間を個々の成長に繋げられる情報、機会を発信していきたい。